

平成23年11月28日
独立行政法人
日本原子力研究開発機構
敦賀本部

福島第一原子力発電所事故を踏まえたソフト面等の 安全対策実行計画について

当機構は、福島第一原子力発電所事故を踏まえ、福井県等からのご要請等をいただき、安全性向上対策を行ってまいりましたが、平成23年10月17日に福井県から、改めてソフト面等の安全対策の実施に関する要請^{*}をいただき、高速増殖原型炉もんじゅの福島第一原子力発電所事故を踏まえたソフト面等の安全対策実行計画について取りまとめ、本日、福井県に報告しました。

当機構は、引き続き、福島第一原子力発電所事故等の情報収集及び分析を行うとともに、今後も得られる新たな知見をもとに迅速かつ的確に対策を追加し、「もんじゅ」の安全確保に万全を期してまいります。

※ 福井県から原子力発電所の安全対策の実施に関する要請（10月17日）

1. ソフト面

- ①緊急時対応体制の強化
- ②発電所支援体制の強化
- ③通信の強化
- ④マニュアル整備と訓練の実施
- ⑤その他

・船舶等を利用した資機材の運搬の検討や現場および災害対策拠点における被ばく管理の強化など検証委員会での指摘事項への対応

2. ハード面

- ①防潮堤等の具体的な計画の提示
- ②発電所の緊急時対策拠点の早期整備
- ③外部電源強化工事の早期着手
- ④その他

・耐震サポートやタンク基礎ボルトの総点検実施等、検証委員会での指摘事項への対応

添付資料：福島第一原子力発電所事故を踏まえたソフト面等の安全対策実行計画について（概要）

以上

<参考資料>

福島第一原子力発電所事故を踏まえたソフト面等の安全対策実行計画について（全文）

福島第一原子力発電所事故を踏まえたソフト面等の 安全対策実行計画について（概要版）

1. はじめに

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震に起因する福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、安全管理に万全を期すため、安全性向上対策を速やかに講じています。また、3 月 12 日以降の福井県からのご要請、国からの指示を踏まえた措置も鋭意実施しています。

今般、10 月 17 日にいただいた要請に対し、もんじゅにおける福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策の充実と具体的計画をとりまとめましたので報告します。

2. ソフト面の対策

- (1) 緊急時対応体制の強化：初期対応要員を増員（3→8 人）し、所内総員を 24 名に増員する。
- (2) 発電所支援体制の強化：敦賀本部の通信設備、被ばく管理を強化。メーカーが現地本部に参画する支援体制を構築する。
- (3) 通信の強化：通信機器の増設、衛星 LAN 回線の新設を検討する。
- (4) マニュアル整備と訓練の実施：地震、津波による機器の故障や復旧遅延などを想定したマニュアルの整備、総合防災訓練による改善を実施する。
- (5) 運搬手段の多様化：船舶等を利用した要員、資機材の輸送を検討する。
- (6) 被ばく管理の強化：内部被ばく管理手法、測定器の増強を検討する。

3. ハード面の対策

- (1) 防潮堤等の設置：もんじゅの原子炉建物は海拔約 21m に位置しており、自然循環に係る設備もそれより高所に配置されていることから、防潮堤等を新たに設置する計画はない。
- (2) 発電所緊急対策建屋：更なる耐震性等を向上させた緊急対策室の増設の必要性を検討する。
- (3) 外部電源の信頼性向上：電力会社の信頼性向上策の状況を確認する。
- (4) 炉心冷却系耐震サポート等の点検：点検工程を踏まえ可及的速やかに応急点検を実施する。

以上